

令和7年12月31日

吉田連合会長 承認済

### 令和7年度 12月 連合理事会議事録

日 時	令和7年12月27日（土）17：00～19：00	場 所	第一自治会館
参加者	吉田、渡邊、三枝、苅谷、和泉、柴田、小原 会長代理不在、欠席者：鷹尾、深谷、他：大畑（深谷理事代理で出席）	出席者：7名	書記：小原

#### 理事会資料配布

- (1) 連合会長選挙について
- (2) 会則・細則変更すべき点洗い出し
- (3) 2026年度連合体制について
- (4) 自治会・連合未来像案  
(配布資料)
  - ①のぞみ野自治連合会 会長選挙に関するお知らせ（公示）
  - ②第1章 役員等の選出 、③2026年度(R8)連合役員・各委員名簿（案）
  - ④各自治会班長会議事録（11、12月） 、⑤のぞみ野自治会が目指すべき姿

#### 議題

##### 1. 連合会長選挙について（説明：小原 周知）（資料一①②）

2026年度の連合会長選挙について以下手順で実施する。

- ①立候補届け出12月25日～1月15日迄（連絡文書作成回覧中）
- ②複数の場合は、1月末迄に代議員投票を実施。最高得票者を会長とする。
- ③立候補者がいない場合は、理事会で選出し大会の承認を得る。

##### 2. 会則・細則変更すべき点の洗い出しについて

- ・昨年度ののぞみ野自治連合会会則・細則を見直し一通り改定実施しているが、新たな必要改定箇所があれば、1月の次回理事会に持ち寄る。

##### 3. 2026年度連合体制について（資料一③）

- ・2026年度の連合役員・各委員（一部継続・選出有り）を来年3月には、継続・新規を含め選出決定次期になる事を周知した。

##### 4. のぞみ野自治会が目指すべき姿（案）（説明：和泉 協議：各理事）（資料一⑤）

- ・のぞみ野自治会員減少している実情を踏まえ、のぞみ野自治会・連合の未来像として目指すべき姿の以下凡例を説明して貢献協議実施。

###### (1) 心理的ハードルを下げる

- ①行事の断捨離とスリム化：恒例で行っている行事を見直し、ニーズの低いものは廃止・縮小。
- ②「1役1人制」の導入：役員の任期や役割を縮小し特定のイベントだけ手伝う  
「スポット・ボランティア制」
- ③デジタル化：回覧板をLINEや専用アプリに置き換え、集金もキャッシュレス化を検討。

###### (2) 自治会加入メリットの可視化（おトク感の創出）

- ①地元店舗との提携：自治会カードの提示で近所の飲食店等で割引価格のサービスを受けられるキャンペーンの実施等
- ②防災設備の優先配布：加入世帯には、個別避難計画の作成支援や防災グッズ等の配布実施。
- ③共用備品のレンタル：高圧洗浄機・キャンプ用品・台車等、たまにしか使用しない高額備品を会員限定で貸し出す。

(3) コミュニティの質の向上（「監視」ではなく「見守り」の空気感を創り出す）

①属性別のコミュニティの支援：シニアの趣味サークルだけでなく子育て世代向けの  
パパママ会・フリーランス向けのコワーキング解放等。

②ウエルカムパックの配布：転入者にゴミ出しのルール・近隣のグルメ・病院情報などを  
まとめたガイドブックを渡し、最初の接触をポジティブにする。

(4) 広報戦略のアップデート「入るのが当たり前」の姿勢でなく、マーケティングの視点を  
取り入れる。

①トーン：○○のお願い・義務感⇒提案・ワクワク感

②媒体：紙⇒SNS（Instagram/公式LINE/HP）

③内容：活動報告（議事録的）⇒利用者の声・活動ピフォーマフター

・いきなり全てを変えるのは反発も大きいため「自治会アンケート」を実施しニーズの優先順位を  
明確にし自治会運営に対し、「何が負担か」「どんなサービスがあれば加入したいか？」を確認し  
住民ニーズに即した対応も必要。

・施策を説明して貰い、同感部分は数多くある意見が出た。又、防災活動は本来、自治会加入・未加入関  
係なく対応必要で、有事の対応者（ホース操法・消火栓取り扱い習得している人）を明確にしておく必要  
がある等の意見もあり。今後もより良くすべき協議していく。

## 5. 連合便り（連合会長出席）

- ・12月20日：根形自治連絡会
- ・12月26日：根っ子の会 愛パトロール参加

## 6. 次回、理事会の予定

1月24日（土）18:00～20:00 連合理事会（第一自治会館） 以上